

## 島岡 まな

高等司法研究科・教授

### 【研究】

日本学術振興会科学研究費補助金の基盤研究(C)「ジェンダー平等的刑法改正に関する研究(平成26～28年度)」の実施1年目に当たり、フランスで海外調査を行った。神奈川大学とのDVに関する共同研究の一環としてトルコ&日本国際シンポジウムに参加し、英語で報告を行った。その基礎となった日本語論文は、法律時報の小特集に掲載された。10月にはウズベキスタン刑法20周年国際シンポジウムに招待され、日本の刑法の発展についてミニ講演を行った。執筆活動のうち書籍として刊行されたものに共著『性犯罪・被害』(向学社)が、共著教科書としては『ジェンダー・スタディーズ』(大阪大学出版会)がある。

### 【教育】

平成26年度前期は、「刑事法総合演習」(3年次配当)を、松田教授と合同で刑法、刑事訴訟法の融合問題について学生に発表させるゼミ形式で行った。3年生の選択科目「刑法応用2」では、2年次の刑法応用1で取り上げられなかった事例問題の検討を内容とする授業を行った。学生の希望により、毎回5～6名の答案に添削を行いOLEにUPした。

後期は、刑法応用(2年次配当)EFクラスを1人で担当した。合計76名の学生に対し、わかりやすい授業を模索した結果パワーポイントを使用し、好評であった。

木曜オフィスアワーを後期に2回、番外編を1回行ったほか、授業外で答案を書いてきた者については個別指導を行った。

### 【管理運営】

平成26年度は、国際交流室員として、国際交流に関する案件を審議したほか、外国人研究員の選抜等を行った。全学委員会である生命機能研究科倫理委員会、国際交流教育委員会に委員としてとして出席した。

### 【社会貢献】

国立循環器病センター倫理委員会委員、大阪弁護士会懲戒委員として、毎月1回の会議に出席。警察庁主催「警察法政策に関する関西研究会」にも何回か出席。京都世界人権問題研究センター嘱託研究員として月1回の研究会に参加。ジェンダー法学会理事、日本学術会議連携委員(法学)として活動を開始。法務省「性犯罪の罰則に関する検討会」にて報告。